

平成 24 年 10 月 22 日

10 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産状況は増加に転じ、入荷・集荷も平年に比べ多い。全体の入荷量が増加している中で、スギは柱材の引合いは良好だが、中目材はやや弱い。ヒノキは柱材、中目材ともに好調な引合いが続く。伐採期に入り新材の良質材が多く入荷しているものの、価格はスギ柱材、中目材ともに横這いで推移。ヒノキは出材量が少なく、品薄感から強保合で値戻ししていたが、柱材は前年比で 4 千円安いまま足踏み状態。群馬の製材工場の 9 月の操業はやや低調。原木の入・出荷、在庫とも問題ないが、製品の販売状況は低調。秋需期待があったが依然低調な動き。家づくり補助事業も対前年比マイナスで、ブランド化事業の実現が見られない。

2. 米材

8 月の米国新設住宅着工戸数は、前月比 2.3%増の年率 75 万戸。米国丸太は住宅着工戸数の回復により、地場製材の丸太需要が旺盛なことと、中国の引合いが増えてきているため価格は強含んでいる。カナダは大手サプライヤーの減産が続いているため伐採量は減少。セカンド、オールドともに強含んでいる。また、ヒバ、スプルースも伐採減少で当分不足状態が続く模様。産地の港頭在庫は、出材に比べ出荷が増えたので減少気味。ウェアハウザー社の 10 月積み米マツ IS ソートは前月比 10 \$ アップ。米材丸太の入荷は横這い、出荷は増加、在庫は横這い。大型港湾製材工場の荷動きは 9 月も好調だが、集成材の不調から値上げまでには至っていない。製材品の TLT(東京木材埠頭) 9 月入荷量は、34.0 千 m^3 で前月比 7.5%減。出荷量は 36.6 千 m^3 同 11.9%減で、在庫は 3.5%減。産地情勢は、9 月以降数十年ぶりの好天が続いており、山火事警戒のため伐採規制が継続、原木生産に影響が出始めている。北米市場は引き続き好調で、各シッパーとも北米市場をより重視する傾向が強まる。産地価格は住宅市況の堅調な動きを受け、引続き好調を持続。

3. 南洋材

サバは世界的な市況悪化に伴い、素材生産業者の本格的な原木伐採減産の影響

が徐々に現れ始め、製材工場への原木入荷がかなり減少し始めている。雨季や国政選挙をひかえていることもあり、今月以降原木出材は更に落ち込むと予想。サラワクは対日原木・合板輸出大手のシッパー数社の強気な気配は変わらず、輸出用原木価格は高水準を維持と予測。世界的不況により製品価格の下落傾向が続くものの、対日向けの製材工場は少ないため、緩やかな下落に止まる模様。PNG・ソロモンは中国、日本からの引合いも強いとは言えず、市況は横這い。南洋材丸太の入荷は減少、出荷は横這い、在庫はやや減少。製材品の入荷は横這い。原木の販売は、合板・製材用とも低迷。製材品は平割りや集成材等多数の商品で需要が一巡し、市場に一服感が漂い低調な荷動きとなっている。

4. 北洋材

ロシア極東は日本向けエゾマツ、カラマツ丸太とも引合いが弱く、8月の入港は全国で1船という記録的な月となった。9月もこの状態は続き、年間入荷量は、昨年の33万 m^3 を下回ると予測。シベリア地方は冬山造材の準備始まる。ロシアのWTO加盟に伴い、アカマツ丸太の輸出税は25%→15%に低減される見通しであり、また中国の市況低迷の影響で、価格は前期比で10~15%程度割安感が出る見通し。富山新港の9月丸太入荷量は0。製品は5,080 m^3 で前月比32%増。丸太の価格はエゾマツ、カラマツ、アカマツともに横這い。製材品も横這いだが、アカマツは良材に荷動きが見られた。在庫は2ヶ月位。国内製材工場の採算状況はエゾマツ原板挽きはトントンで、アカマツ丸太・原板挽きとも不採算。稼働状況は受注生産で受注は引続き低調。

5. 合板

国産材、南洋材丸太の価格は横這い。米材、北洋材丸太は強含みの状況。南洋材、針葉樹メーカーともに、減産継続のため、生産に見合った分のみの手当てが続き、丸太在庫は適正水準の様子。8月の国内合板生産量19.8万 m^3 のうち、針葉樹合板は18万 m^3 で3ヶ月連続で減少しているが、減産への足並みは揃わず、前月比では微減の状態。出荷量は19.7万 m^3 と生産を大きく上回ったため、在庫量は19.2万 m^3 と6ヶ月ぶりに20万 m^3 の大台を割った。針葉樹合板は、メーカーによっては瞬間的に欠品品目も出始め、以前のような過剰感はないが価格は混沌としており、メーカー側の意向が市場に伝わり難い状況で値戻しのタイミングが注目されている。国産南洋材合板の荷動きは、引続き低調。輸入合板の影響もありメーカーは採算割れ改善のため10月以降値上げの方針。針葉樹合板は堅調な直需に対し、一般ルートは苦戦が継続。中間決算をにらみ売上げ確保の動きもありジリ安の状況。輸入合板の荷動きは12mm厚品を中心に依然良好。産地の本格的な値上げにより強含みのムードが増加。現状では針葉樹、輸入合

板とも需給バランスは保たれており、値戻しへの材料は多いが、今後の価格動向は需給次第との見方に変わりはない状況。

6. 構造用集成材

原料・ラミナは比較的順調に入荷。現地のマーケットは冷え込んでおり、QTR契約の日本はすでに受注が決まっているので、現地での製品化に比べ、先行き生産の順調な日本向けで入荷は順調に推移する。価格動向は、11月から更なるフレートの値上げがあることから、上昇の傾向にあるが、国内のマーケットも冷え込み更に円安傾向なので、現地の唱えどおりの値上げは難しい状況。次回の価格交渉は10月。輸入集成材も値上げを唱えている分、成約率は低い。このような中で柱、梁とも価格を下げて契約に持ち込むと現行価格が少々の上げで決着になる。国産集成材の受注・販売・荷動きいづれも横這い。荷動きが良い中で値戻しを唱えているが、本格的な値上げは浸透せず、10月は横這いで、値戻しは11月以降にずれ込むと予測。

7. 市売問屋

構造材は、国産・外材とも期待していた秋需がそれ程ではなく、前月並みの軟調な荷動き。造作材は、国産材ではリフォーム需要が堅調で、小口の荷動きが活発になっている。外材は、依然としてスプルー等白物材の入荷が少なく、需要に答えられない状況が続く。代替の米ツガ平割はニーズになかなか浸透せず。荷動きが堅調であったスギ間柱まで荷動きが悪くなってきている。大手ハウスメーカーを除き中小工務店の手持仕事が伸びず買方の買い意欲は乏しい。震災復興、消費増税駆け込み、ポイント制度の復活等先行き明るい材料はあるが、現状は実需に乏しく厳しい状況が続く。

8. 小売

国産材の構造材価格はスギKD柱、小割、板割、ヒノキKD柱、土台いづれも保合。外材は米ツガKD平割、正角、北洋アカマツ垂木、WW間柱いづれも保合。造作材はスプルー、ナラ、タモの平割良材少なくいづれも強保合。WW、RW集成材は梁、柱とも保合。針葉樹合板は強保合、ラワン合板は保合。床板、フローアは変わらず。プレカット工場は、加工費・材料価格変わらず。地場工務店から新築依頼が続き、年末にかけては明るい材料。

10月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	→	↘
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→

矢印の表示は本月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m) 2等	→
			スギ中丸太(3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材(3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太(4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×4m	→
米材	丸太	産地価格 国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ	→
			米マツ カスケード(カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↘
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8'' 13'	↘
		米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16'' 13'	→	
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格 東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格 東京・問屋店頭 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
			ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)	→
		同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ(3.0×4.0×3.8m) 特等	→
			アカマツ(3.0×4.0×4m) 特等	→
			カラマツ(10.5×10.5×4m) 特等	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産		スギ 無化粧 10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→